

入場無料
予約不要

2019年2月9日 (土)

BIO Mimetics

バイオミメティクス市民セミナー・対話篇

第86回 北海道とバイオミメティクスを考える
その10 持続可能な街づくり



人間工学(Ergonomics/Human Factors)は製品、システム、サービスに関わる人々の作業効率と健康・安全・安心とを両立させるための科学と工学です。

この人間工学に基づいて製品、システム、サービスをデザインする

「人間中心設計 (Human-Centred Design)」というアプローチ (考え方) があります。

私たちは人間中心設計の考え方に基づいて

新千歳国際空港や

JR千歳駅構内などの

公共施設案内板や

パンフレットのデザイン

および評価を実践してきました。

このセミナーでは、このような

実践例をご紹介しながら、持続可能なまちづくりに貢献できる

人間工学という学問について

ご説明したいと思います。

生き物から学ぶまちづくり

～バイオミメティクスによる都市の生活習慣病対策～

筑波大学 教授

谷口 守



生き物と都市は実はよく似ています。住宅やオフィスは一つ一つの細胞、道路は大動脈(幹線道路)から毛細血管(路地)に至るネットワークといえます。生き物も都市も活動を続けるためのエネルギーを摂取し、排泄物や廃棄物が生じます。

また両者とも、「成長し」「新陳代謝し」「元気であろうとし」「病気にもなり」「怪我もし」「治癒し」「老化し」「再生し」そして「進化」もします。

本講演ではバイオミメティクスの視点から現代の都市を診断し

都市がどのような生活習慣病におかされているかを明らかにします。

その上で都市がどうやって免疫力や再生力を高めて活力を取り戻していくかについて

生き物に教を乞うことを通じていくつかのヒントを提示します。



&



利用価値を高める工学

一人間工学とサービス工学

千歳科学技術大学 准教授

小林 大二

主催:北海道大学総合博物館

共催:高分子学会北海道支部

北海道大学 電子科学研究所

特定非営利活動法人バイオミメティクス推進協議会

協賛:千歳科学技術大学バイオミメティクス研究センター

北海道大学総合博物館

060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

問合せ先: TEL:011-706-2658 FAX:011-706-4029

E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

会場:北海道大学総合博物館 3階 北講義室(N308)
札幌市北区北10条西8丁目

時間:午後1時30分から午後3時30分